

Good Choice

グッドチョイス

まちの話題をお寄せください。

総務部広報統計係 ☎75-2116/☎75-2110

市の繁栄を願って『太鼓浮立』祝い打ち

両子太鼓浮立普及会が市役所で披露

両子太鼓浮立普及会のメンバーが10月19日に市役所を訪れ、『太鼓浮立』の祝い打ちを披露し、市の繁栄を願いました。

一行は、東多久町両子区の有志。「交流が薄い新興住宅地の和を広げ、絆を深めたい」「喜びを持って生きたい」と平成15年に結成し、毎週の練習を重ね、地区内外のイベントや老人ホームなどでも演奏しています。

この日は、納所地区伝統の両子神社『秋季大祭』(おくんち)。地区の安全、五穀豊穡、諸災消除を祈願し、神社浮立の奉納や演芸などの披露に加え、ソフトボール大会で賑わいます。この祭りを総括する締元が順に決まっており、今年初めて両子区が締元を務めました。

早朝、神社で初奉納を終えると、両子区全40戸を巡り、ご縁のある事業所などへも繁栄を願い出張浮立。昼休みの市役所でも、躍動的な姿と音色を披露し、参観者から大きな拍手を浴びていました。代表の本田剛さんは「市民活動推進事業の助成でハッピーを揃えることができ、その恩返しでもあります。いろいろな所でも演じますので声掛けを！」と呼び掛けられていました。



▲オリジナル曲など3番を披露する両子太鼓浮立普及会

アニメ『サザエさん』のマスオさん役や『それいけ!アンパンマン』のジャムおじさん役などで人気の増岡弘さん。「食べたものは3時間後の自分。健康に対する健康な考えを持った食生活でなければならぬ」とも語り、「自分の幸せの見つけ方の基準を下げると色んなものが見えます。それを大事に!」と結びました。



言葉は相手に対するプレゼント!

南部小で『マスオさん』が講演

自分の健康に関心を持ち、健康的な生活を送ることができる児童の育成をめざし、『歯・口の健康づくり』に係る実践を積み重ねている南部小で10月15日、その研究発表会がありました。参加者は、市内外の養護・栄養教諭や中央中校区の教諭など約150人。公開授業や研究報告などを通じた情報の共有で、実践に生かし、よりよい教育へ協議を深める場となりました。

声優として活躍中の増岡弘さんを招いた講演もあり、演題は『サザエさん一家は幸福しあわせみつけの達人ぞろい』。増岡さんは「人は、使った言葉の中に生きています。いい言葉を使えばいい生活に、悪い言葉を使えば残念ながら悪い生活になるのは当たり前。言葉にも心にも温度があり、全ての言葉は相手に対するプレゼント。大事にしてください」と、経験談をもとに先生と子どもの関係、夫婦の関係、人と人をつなぐ言葉遣いの大切さなどを伝えました。

福祉サービスが一目瞭然! 重宝する便利な一冊が完成

10/29



昨年5月、市民の生活を支える市内10団体の保健と医療、福祉の専門家と地域包括支援センターで結成した『つながりネットワーク』は、やさしいまちづくりをすすめようと、『多久のよかところマップ』を作成しました。知っているのと得ることが多い医療や福祉のサービスをまとめた便利な一冊で、市内の各種医療機関、薬局、高齢者・障害者施設などの情報が一目瞭然!! 地域包括支援センター(福祉健康課内☎75-6033)で無料提供しています。

喜ばれるのが嬉しい! 平野さんのフォックスフェイス

10/4



平野浪江さん(西多久町)が育てる『フォックスフェイス』が黄色く色付き収穫期を迎えました。実が狐の顔に似るナス科のこの植物は、水無しで年明けまで楽しめ、花材や観賞用に人気。10年程前に手探りで栽培を始め、試行錯誤を繰り返しながらも農業経験を活かし、栽培技術を確立しました。多久市ふるさと情報館『幡船の里』で販売し、今では栽培知識を尋ねられることもしばしばの平野さんは「みなさんに喜ばれるのが何より」と笑顔でした。